

みらいとも

御手洗朋宏

みらいをともに

ニュース

発行/県民クラブ みらいともひろ

連絡所/大分市下郡字長谷496-38 TEL097-556-7757 FAX097-556-9288 携帯090-4350-2376 メールアドレスto4350mo@gmail.com

大分県議会第1回定例会 (24年2月26日(月)~3月27日(水)) 報告



議員提出議案の
提案理由説明(閉会日)

佐藤樹一郎知事が就任して初の本格的な予算編成

総額6,898億800万円となる予算の提案理由を知事は「今こそ、物価上昇を乗り越える力強い賃上げと脱炭素やデジタル化など攻めの投資を加速させ、本県経済の好循環を生み出していかねばならない」「想定を上回るスピードで進む人口減少への対応も待たなしであり、こどもや高齢者、障がい者等を社会全体で支え合う持続可能な共生社会を実現していく必要がある」と述べました。また「全ての県民が幸せに暮らすことができるよう、あらゆる方々と連携しながら、積極果敢に県政の舵を取っていく」と決意表明しました。

キーワードは「安心」「元気」「未来創造」

予算編成の基本となる考え方は「誰もが**安心**して**元気**に活躍できる大分県、知恵と努力が報われ**未来を創造**できる大分県の実現に向け、人口減少対策の強化や産業の振興を進めるとともに、未来へつなげる投資を促進する」ことです。それぞれの分野ごとに重点が以下のように示されました。

安心分野

■災害に強い県土づくりと危機管理の強化

▶ 県土の強靱化に取り組むとともに防災・減災対策を充実し、頻発・激甚化する自然災害へ対応

▶ 新型コロナ対応で得たノウハウや課題を生かし、体制・設備の両面から新興感染症への対策を強化

■こども・子育て支援の充実

▶ こども・子育て家庭へ向けた支援策の充実により、子育ての経済的負担の軽減

▶ 児童虐待の未然防止・早期対応に向けた対応力の強化

■多様性を認め合い、誰もがいきいきと活躍する社会づくり

▶ 地域ごとの健康課題への対策、在宅医療等の充実、高齢者が地域で活躍できる環境整備や障がい者の就労支援

▶ 全ての人が尊重され、住民がともに支え合う地域社会の実現



未来創造分野

■未来へつながる地域社会の実現

▶ 地域公共交通の維持・確保を図るとともに、東九州新幹線等の広域交通ネットワークの充実を推進

▶ 地域の未来を支える企業誘致に向けた工業団地整備の推進や、移住・定住の更なる促進

■カーボンニュートラルの推進

▶ GX投資を呼び込むとともに、EV車両の普及や水素・地熱利活用への支援を通じた新エネルギーの活用促進

■先端技術への挑戦とデジタル社会の実現

▶ 次世代空モビリティ産業等の先端技術への挑戦や中小企業DXの推進を通じ、新産業を創出

■次代を担うこどもたちへの教育

▶ どの地域においても多様で質の高い教育を提供するとともに、学校部活動の地域移行を推進

▶ 安全・安心な教育環境の確保やものづくり人材への修学支援、地域課題解決に向けた大学等との連携促進



元気分野

■みんなで実現する元気な農林水産業

▶ 園芸産地の拡大に向けた大規模園芸団地の整備促進

▶ 畜産振興に向けた放牧による低コスト化の促進

▶ 全国をリードする循環型林業の構築や、全国豊かな海づくり大会の開催を契機とした県産水産物の消費拡大

■元気な経済を創出する産業の振興

▶ 設備投資への支援や制度資金の融通を通じた、経営力の強化と賃上げの実現

▶ 福岡・大分デスティネーションキャンペーンの成功や積極的な海外プロモーションを通じた、観光の完全復活

■人材の確保・育成や誰もが活躍できる環境づくり

▶ 就労環境の整備や仕事と育児の両立支援を通じて、人材確保を後押し

▶ 外国人に選ばれる大分県づくりに向けた受入環境の整備や日本語教育の充実

■創造的で活力あふれる地域の元気づくり

▶ 福岡・大分DCやiichiko総合文化センターのリニューアル等を契機とした、県民の芸術文化の鑑賞機会等の充実

▶ 北部九州4県による全国高等学校総合体育大会の開催と、スポーツによる地域の元気づくりの推進



※ さらに詳しく知りたい方は大分県HP (<https://www.pref.oita.jp/>) もご参照ください。

2月26日(月)の開会日に第1号から47号議案までの提案があり、29日(木)には48号から60号議案まで追加提案されました。その間の議案調査を経て、3月5日(火)6日(水)に代表質問、7日(木)～11日(月)に一般質問が、12日(火)～18日(月)には予算特別委員会が行われました。予算特別委員会における「みたらいともひろ」の質疑内容の要旨を報告します。



【予算特別委員会では議席から質問をします】

総務部

政策県庁を担う人材確保・育成推進事業費
4,845千円(全額一般財源)

事業概要：長期総合計画や地方創生の実現に向けた政策県庁を担う人事の育成や奨励の大分県庁を支える優秀な人材の確保を推進する

◎県庁を支える人材確保対策に要する経費 2,522千円 ほか

- (質問) 事業概要の詳細は？
- 人材確保は官民間問わず喫緊の課題であり、事業の充実だけで人材確保につながらないのではないかと懸念があるが見解は？
- (回答) 特に技術職の確保に課題があるため、理系の学生においては1,2年生の段階から働きかけを行っていく。仕事のやりがいのもとより育休取得のしやすさなど職場環境もアピールする。
- 試行的に行ったインターンシップでは、6割が受験し、3割が採用につながった。これまでの2日間程度に加えて、3週間程度会計年度任用職員として有償インターンシップを実施する。
 - 全国350か所のテストセンターで採用試験を実施するなど受験しやすい環境づくりを進める。
- (要望) 職場の「働きやすさ」も重要な要因となる。そちらの改善もあわせて進めていくべき。

企画 振興部

乗合バス利用効果実証事業費
76,321千円(全額国庫支出金)

事業概要：乗合バスの利用者増加を図るとともに、自家用車からの乗り換えによる環境負荷の軽減や交通渋滞の緩和などの多面的な効果を検証するため、県内の路線バスを対象とした運賃無料の実証運行を実施する

◎バス無料運行補助…乗合バスの無料運行に対して助成 66,492千円 ほか

- (質問) ・どこの路線でどれくらいの人数を対象として想定しているのか？
- この実証事業で得られた知見を今後どう活用する予定か？
- (回答) ・県内乗合バス全路線が対象。2022年度利用者が約3万6千人/日であり、昨年度同様の事業を行った佐賀県において無料の日の利用者が2.2倍となっていることから、本県においても7万9千人程度を予測。
- 特に渋滞状況の多い大分市でモニタリングを行う。利用者にアンケートを実施し、その結果を事業者にフィードバックし、新たな割引制度等を検討してもらいたい。渋滞緩和や環境負荷軽減の効果をアピールし、バス利用を促進する。

福祉 保健部

がん対策推進事業費 37,615千円
(国庫支出金13,369千円・一般財源24,246千円)

事業概要：がん検診受診率の向上に向けた普及啓発・受診促進に取り組むとともに、がん診療連携拠点病院の機能強化やがん患者の社会参加支援などがん対策を総合的に推進する

◎がん患者社会参加応援事業 8,192千円 ほか
医療用ウィッグや乳房補整具、副作用ケア用品等の購入費を助成するとともに、アピラランスケアの相談体制強化、普及啓発を行う

- (質問) ・がん患者以外にも医療用ウィッグ等を必要とする方はいるが、対象をもっと広げることができないか？
- (回答) ・ヘアロス*の子どもたちなど状況把握に努め、今後検討していきたい。

*ヘアロスのことについて詳しく知りたい方はAlopecia Style Project Japan(アルベシアスタイル プロジェクト ジャパン)のホームページ(<https://aspj.site/>)をご覧ください。

福祉 保健部

ヤングケアラー等支援体制強化事業費
45,232千円(国庫4,229千円・一般41,003千円)

事業概要：ヤングケアラーなど支援を必要とする子どもや児童虐待のおそれのある家庭を早期に発見し、適切な支援に繋げるため、見守り・相談

体制の構築のほか周知・啓発等に取り組む

◎ヤングケアラー支援事業 14,996千円

庁内に専門アドバイザーを配置し、市町村の支援体制構築のための専門的助言のほか、教職員や関係機関を対象にした研修を実施する

- ・ヤングケアラー実態調査の実施(小5～高3)ほか

- (要望) ・調査を担う学校現場との連携のあり方についても十分に検討してほしい。
- ・貧困やDV、引きこもり等子どもたちを取り巻く様々な環境にも対応できるものとするべき
- ※他の議員の質問内容が重なったため要望にとどめました。

生活環境部 安全・安心なインターネット等利用環境づくり事業費 3,979千円(全額一般財源)

事業概要：ネットモラル・リテラシーの向上や青少年を有害環境から守る機運の醸成を図るため、等利用環境づくり事業費保護者や中学生、高校生に対して啓発を行う

◎中学生・高校生ICTカンファレンスの開催 2,611千円
ネット利用モラルやICTの利活用等のテーマについて、中学生・高校生が議論し発表するワークショップを開催する

◎保護者向け広報・啓発活動 1,368千円
青少年のネット利用実態調査で青少年と保護者の声を拾い、幅広く保護者が各家庭での「ルールづくり」ができるよう啓発資料を作成し、情報提供を行う

- (質問) ・カンファレンス等の詳細およびこれまでの事業の成果と課題は？
- ・家庭の責任についてしっかりと啓発していく必要があるが見解は？

- (回答) ・ネットモラル等について中高生が議論し、発表を行うワークショップ。学校の枠を超えたグループ構成で、大学生等がファシリテーターとして参加。各地域のICT活用に寄与するものと考えている。
- ・アンケートを実施し、その結果に基づいた啓発資料を作成する。ネット利用の低年齢化に伴い、幼稚園等にも保護者向け資料を配付予定。

- (要望) ・教育委員会と連携し学校現場の状況を把握するとともに、相談機関等の周知徹底をお願いする。

土木建築部 建設産業構造改善・人材育成支援事業費 16,800千円(全額一般財源)

◎建設産業における人材確保や生産性向上を図るため、建設労働者の就労環境改善の支援や各種メディアを活用した魅力発信を行う

- ・就労環境改善と改善内容の情報発信に対する補助 5,000千円
- ・PR動画、メディア等を活用した建設産業の魅力発信 6,931千円 ほか

土木建築部 建設産業女性活躍加速化促進事業費 (国庫支出金7,840千円・一般財源23,373千円)

◎建設産業における女性の活躍を促進するため、県内各地でセミナーを開催するほか、女性が働きやすい職場環境整備に向けたICT機器等の導入支援や女子高校生等を対象に魅力発信を行う

- ・建設産業女性ネットワークの構築 1,488千円

- ・ロールモデル用パンフレットの作成 2,650千円
- ・女性活躍促進機器(ICT機器等)の導入経費に対する補助 12,000千円 他

- (質問) ・男女別トイレや更衣室の設置などを求める声が聞かれるが現状は？
- ・「女性が働きやすい職場環境整備」の具体的な内容は？

- (回答) ・事業所の補助だけでなく、4月からは建設現場での仮設トイレ設置の補助も行い、意識改革とともに男女ともに働きやすい職場環境づくりを進めていく。
- ・トイレや更衣室の整備だけでなく、ドローン等の機器やソフトの導入で「力仕事」というイメージを払拭しようとしている。

- (要望) 魅力発信の対象を小中学生や成人にも広げてもらいたい。

実際のやりとりについては動画が公開されていますので、そちらをご参照ください。

(大分県議会HP:<https://www.pref.oita.jp/site/gikai/>)



【文教警察委員会での質疑】

3月21日(木)には文教警察常任委員会に関係議案の審議等を行い、25日(月)に予算特別委員会の採決、27日(水)に議案の採決や常任委員の決定などが行われ、31日間にわたった第1回定例会が閉会しました。閉会日の本会議において「みらいともひろ」は会派を代表して議員提出議題の提案理由説明を行いました(1面写真)。

活動報告「経済活性化対策特別委員会」

緊急または専門的・集中的に調査すべき問題が発生した場合や、複数の常任委員会の所管に属し、関係常任委員会の合同開催や連携では調査できない場合に特別委員会が設置されます。今回「みたらいともひろ」は15人の委員の一人として選任されました。(任期は25年3月31日まで)

本委員会の目的は、以下の通りです。

県内延べ宿泊客数がコロナ禍前の水準に戻るなど、県経済は緩やかな回復基調にあるが、この流れを止めることなく、持続的な発展につなぐことが県政の最重要課題といえる。

県内では臼杵市がユネスコ食文化創造都市に認定される等、本県の強みである食や観光に国内外から注目が集まっており、農林水産業等との連携を密にし、競争力を高め、県産品の輸出や観光消費を一層拡大させる取り組みは、アフターコロナを見据える中で喫緊の課題であり、かつ時期を得たものといえる。人材の確保育成策とあわせこれら取り組みを加速化することで、経済の活性化や産業の基盤強化をめざす。

この目的のもと、～食と観光、農林水産業のさらなる振興と人材の確保・育成～をテーマに、以下の内容で議論を重ねています。

- (1) 県産品の輸出や観光消費の拡大等、競争力強化、市場開拓について
- (2) 市場ニーズにマッチした商品開発と高付加価値化について
- (3) これらの活動をさせる人材の確保・育成について
大分県の発展のため力を尽くしていきたいと思えます。



【経済活性化対策特別委員会の様子】

【大分県の取り組み紹介】

○福岡・大分デスティネーションキャンペーン

Destination (目的地・行き先)とCampaign (宣伝)を合成した造語で、地元自治体と観光関係団体、事業者等とJRグループが協力して実施する国内最大規模の観光キャンペーンです。



【大分駅構内のパネル】

○ホーバーターミナルおおいた「HOV. OTA」(ホボッタ)

ターミナルの建物が完成し、先日、西大分側の視察を行いました。秋の運行に向けて推移を注視しています。



【実物はとても大きく感じます】



【船内でも説明を受けました】



【展望台を兼ねたスロープ】